

第3回

もり 中部の森林 フォトコンテスト



テーマ

森と人～未来へつなぐ山での営み～

応募締切：令和8年12月20日(日)



<事例> ※森や木と人の関わりがわかる
作品を対象とします

山を守り、山で働く人の姿
・林業労働者、森林土木事業者
・森林ボランティア活動など

山で学ぶ、山に親しむ人の姿
・学生や森林環境教育の様子
・自然休養林等での木育など

木や林産物を活かす人の姿
・伝統工芸や技術継承の様子
・木工作品に挑む様子など

< 注 意 事 項 >

撮影の際は必ず周囲の安全を確認するようにしてください。
また、応募された写真を確認し、作業等の様子に安全上の問題がある状態だと判断した場合には、審査の対象外となりますので、あらかじめご注意ください
ようお願いいたします。

応募はこちらから



林野庁 中部森林管理局

デジカメ・スマホ・ドローン
撮影方法はなんでもOK!

富山・長野・岐阜・愛知
県内で撮影された写真限定

令和6年1月以降に撮影した
未発表の写真限定

応募は1人3点まで
(組写真は対象外)



多くの皆さまからのご応募をお待ちしています

【応募事例】

山を守り、山で働く人の姿

タイトル

me

『雨にも負けず、山を守る手』

撮影箇所



岐阜県飛騨市(北ノ俣登山道)



中部の森林 フォトコンテスト2025
応募作品

コメント



「自然と向き合い、共に作り上げる」
雨の中で奮闘するボランティアの皆さんの
姿は、山の魅力を守るための努力そのもの。
ひとつひとつの作業が未来の登山者に繋
がる、大切な一歩。山道の整備を通じて、
自然との共生と人々の絆が感じられる。

【応募事例】

山で学ぶ、山に親しむ人の姿

タイトル

me

『こんにちは～、
お花をたくさん見れたかな?』

撮影箇所



長野県北安曇郡小谷村



中信森林管理署作成
2026カレンダー8月

コメント



小谷村梅池自然園での高山植物保護パト
ロールの際の、かわいい散策者との交流の
一コマです。ちょっぴり恥ずかしそうでした
が、ご挨拶の握手をしてくれました。

【応募事例】

木や林産物を活かす人の姿

タイトル

me

『うるしかき』

撮影箇所



〇〇県〇〇市〇〇



道の駅 木曾 ならかわHP「漆器のこと」より
<https://kiso.or.jp/lacquerware/>

コメント



ウルシは幹に傷をつけて樹液を採取します。
一本の木から、樹液は年間60～250g程度
しか採取できないので、大変貴重です。



国民の森林・国有林

林野庁 中部森林管理局